



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1047

09.04.2023 (134)

エンサイクロペディア - Michael Kühnen

58 - 階級闘争

マルクス主義の思想にとって、階級闘争は、遠大な歴史の動く原理を表し、それによれば、生産関係とそこから生じる階級闘争によってのみ、運命的に決定されることになっている。この理論によれば、封建制からブルジョアジーの支配へ、ブルジョアジーからプロレタリアートの独裁へ、そして最後に、生産手段の共同所有と支配構造のない階級なき社会への移行は、階級闘争において必然的かつ不可避的におこるのである。マルクス主義にとって、国家は、階級闘争における搾取階級の道具に過ぎず、生産手段の私的所有権を維持するために役立ち、これが世界中で排除されたときに滅びるのである。

政治・経済理論としてのマルクス主義はとっくに反論され、宗教の世俗的代用としてのみ生きている。そこでは、階級闘争は人類の発展の表現であり、それは必然であるとか「科学的に証明されている」とさえ誤ってみなされているのだ。

これに対して、国家社会主義は、必然的で避けられない中間段階と最終状態を持つ歴史的決定論は知らないが、自然法則によって決定される生命の法則は知っており、世界史の結果を予測することはできないが、どの原因がどの結果につながるかについての記述は可能である。

国家社会主義の科学的認識論としての生物学的ヒューマニズムが認める生命の三大法則は、次のとおりである。



生存競争における遺伝、分化、淘汰。この観点からすると、人種間の闘争は世界史の動く原理です - ただし、終わりが決まっている運命的な歴史の流れとしてではなく、自然の不変の法則に従って種の保存と発展を目指し、人種と民族の適応と生存を求める開かれた闘いとしてです。

とはいえ、国家社会主義は、階級闘争の存在も認めており、搾取する一団と搾取される大衆が互いに対峙している。しかし、階級闘争は、生産手段の私有に基づくものではなく、利権への隷属に基づくものであり、それは、国内だけでなく、国際的にも同様である。したがって、国家社会主義は、利権の束縛を打破することを要求する。たとえば、国家社会主義ドイツ労働者党の党綱領の第11項では、次のように述べている。

階級闘争は、自由資本主義の社会秩序においても、マルクス主義の社会秩序においても、国家的事実であると同時に、国際的事実（利権に依存する人民の搾取）である。この階級闘争において、国家社会主義は、労働者運動の歴史的継承者として、一貫して、被搾取者の側に立ち、人民の自由のために立つ。それは、最終的に、労働倫理を通じて、利権の束縛を打破し、民衆的社会主義を実現し、コーポラティズムの社会・経済秩序を通じて、階級闘争を勝利的に終結させる--こうして真の民衆共同体を創造するのである。

59 - 会社

コーポラティヴィズムは、国家社会主義によって追求され実現されたヴェルキッシュ社会主義の目標を実現した後の国民経済の組織形態である。資本主義は、国民経済の機械的な組織形態であり、人間の最低の本能である妬み、エゴイズム、所有欲に基づいているのに対し、コーポラティズムは、その原理が有機的な国民経済を実現するものである。

りえきよりこうえき

このように、コーポラティヴ主義は、国家社会主義者の労働者倫理に基づくものである。自分の場所で、自分の傾向、能力に従って、自分の全力を尽くして、民族共同体のために働く者は皆、労働者である-これが、国家社会主義が人間を教育する方法である。しかし、来るべき国家社会主義

人民国家（国家を参照）では、すべての労働者は、職業的な線に沿って構成された大企業において、それぞれの仕事の分野に従って組織され、それによって、単一の大きな労働戦線を形成することになる-これがコーポラティブの目標である。

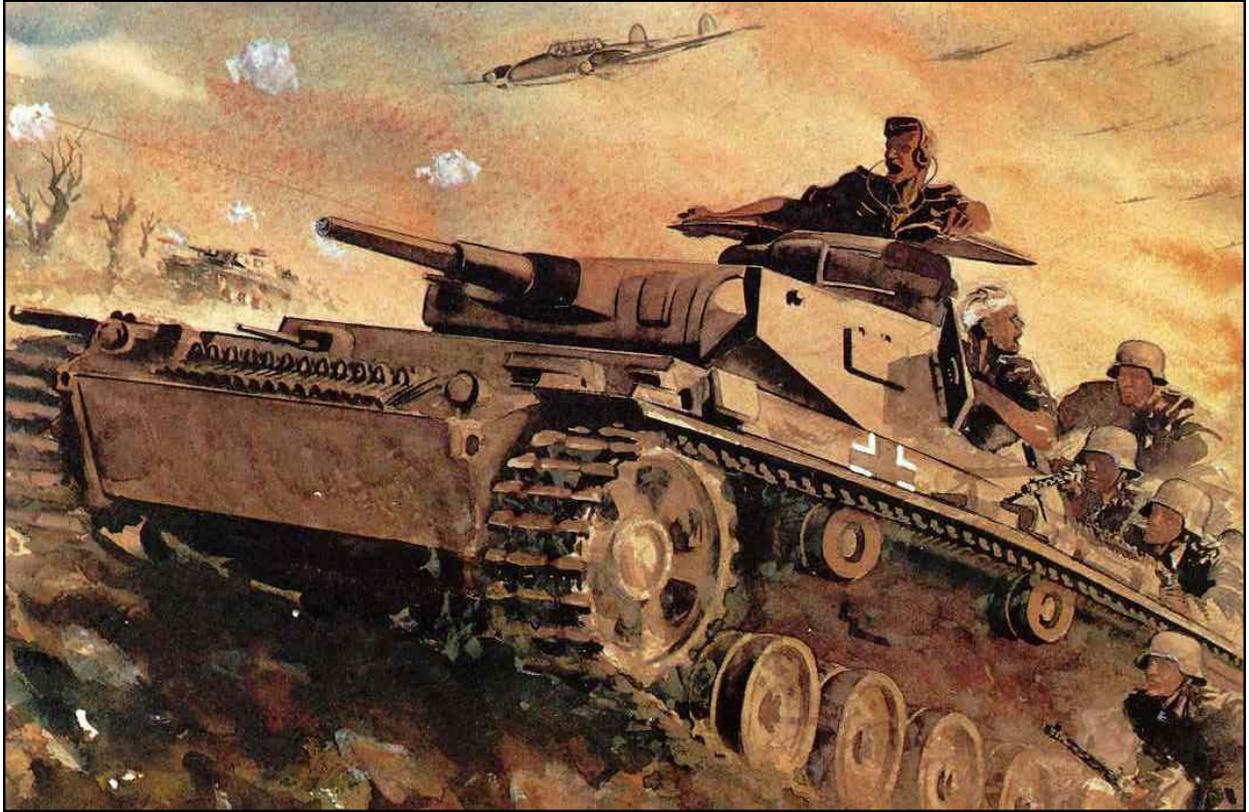
国家における人民の同志の共同責任と共同創造は、もはや、現体制の政党の機械的装置を通じて行われることはなく、そこでは常に幻想にとどまっているが、企業において現実となるであろう。人間は、常に自分とは異質のままである政党の中に生まれるのではなく、有機的な国家共同体の中で成長し、生活し、人生の大部分を国家共同体とその国家経済組織構造の中で働くことに費やすからである。したがって、ここに、彼が熱望する自由と共同責任の基礎がある（利益分配も参照）。国家による国民経済の枠組み計画もまた、企業を通じて行われる（「計画」を参照）。

企業の国家への統合は、政治的には、それ自体が国家社会主義党の下部組織である労働者戦線（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）の指導の助けを借りて行われる。制度的には、例えばNSDAP党綱領の第25節に示されているように、国家社会主義人民国家の企業的構造を通じて行われ、人民の最高かつ中央の代表としてのシュテンドパルラメント（領地議会）で頂点に達する。

60 - WAR

通常 of 残虐宣伝の最も一般的な非難の一つは、国家社会主義は戦争を意味し、国家社会主義ドイツ労働者党は戦争を解き放つことに目標を置いている、あるいは、過去にそうしてきたというものです。このような主張は事実無根であり、戦後のドイツでNSDAPを迫害し禁止するための口実としてしか機能しない。

国家社会主義の科学的認識論-生物学的人文主義-は、生存のための闘争を、遺伝と分化のほかに、人間共同体の生活における最も重要な自然界の法則であると宣言し、国家社会主義は、闘争を通じて常に最高のものを選別し、未来のより高い人間性が具現された民族的エリートの形成を達成するという政治目的をそれによって正当化している。国家社会主義はまた、人種的闘争に世界史の感動的な原理を認め、人種的分離政策と人種的法律



の助けを借りてそれを行う（「人種」の項も参照）。そして最後に、国家社会主義は、十分な生活空間の獲得と保全が、民族の種の保存と発展のための前提条件であることを宣言する。

歴史的に見れば、国家とその責任ある指導者のこうした生物学的に肯定的で必要な任務（存続のための闘争、選択、人種隔離、生活空間など）はすべて（勝利した）戦争によって促進されたことは議論の余地がない。こうして、古代ギリシャの哲学者ヘラクレイトスの有名な言葉が理解されることになる。

"戦争はすべてのものの父である"

近代的な技術による大量破壊兵器の時代には、戦争はもはや生物学的に最も強い者の勝利という生物学的に肯定的な戦いではなく、参加するすべての民族にマイナスの選択をもたらすことが、すでに第一次世界大戦で証明されている。20世紀後半のヨーロッパの衰退と退廃は、前半の二つの世界大戦によって起こったこのマイナスの選別に本質的な原因がある。

NSDAPとその指導者アドルフ・ヒトラーは、第一次世界大戦の前線兵士として、このことを早くから認識していたため、戦争を回避しようとし、民族の種の保存と発展のために必要となった生活空間のための戦争だけを、倫理的に正当なものとして一切宣言した（倫理も参照のこと）。

民主主義を背景とする自由資本主義の世界政治夜間体制とシオニズムは、1939/50JdFの戦争を解き放ち、生活空間のための戦争と東方のボルシェビズムとの戦いだけを主導しようとした国家社会主義ドイツに、新たな世界大戦を強いることになったのである。その結果、新世代の国家社会主義は、今日、自由資本主義に主敵を見だし、東方拡大論を放棄し、原子時代には、戦争は、当面、政治の選択と手段という意味での闘争ではついになくなったという信念を抱いている。その一方で、戦争は、国家、さらには人類一般にとって自殺の危機となった。

しかしながら、国家社会主義は、闘争そのものを、積極的な生物学的必然性とみなし、それは、しかし、もはや戦争として行うことができ、また行わなければならない。生命に属し、その終わりが死を示すだけの闘争を非難することなく、国家社会主義は、今日、これまで以上に平和運動として、唯一の真の平和--正義の平和と人民の自決権、種の保存と種の発展を可能にし確保する平和、さらに正の選択を再び可能にするための闘争共同体として、自らをとらえているのだ。

61 「戦争責任の嘘

国家社会主義ドイツが第二次世界大戦の勃発に単独または主要な責任を負っていた、あるいは、国家社会主義は根本的に戦争を求めるものであり、したがって犯罪者であるという主張は、ヨーロッパのユダヤ人に対するホロコーストの嘘と並んで、敵の残虐行為のプロパガンダの最も人気のある非難の一つである。実際には、歴史修正主義者の歴史学によって、ドイツは両世界大戦においてほとんど罪がないことが長い間確認されてきた。しかし、敵の残虐宣伝に対する防御は、新戦線の思想共同体の宣伝の仕事ではなく、民衆教育（党内：訓練）に委ねられているのである。

その代わりに、新戦線は、闘争がすべての人間生活と共同体生活、およびすべての発展の決定的な法則であるという国家社会主義の洞察を誇りを持って認め、兵士の生活に対する戦闘的態度は、国家社会主義の人間性の

モデルであり、現在もそうであり、今もそうであると述べている。しかし、それと同様にはっきりと、原子時代には、戦争はもはや政治の手段とはなりえず、したがって拒否されるべきであり、非原子力の領域においてさえ、戦争はそれ自体が目的ではなく、常に目的への手段でしかなく、一般に、民族や人種の種の保存と発展を促す範囲でのみ倫理的に正当化されるが、それらを脅かす場合はそうではないことを宣言する

（「倫理」の項を参照）。

したがって、国家社会主義は、戦争を意味しない。国家社会主義は、平和であり、それは、安全で十分な生活空間における人民の自己決定権に基づいてのみ可能である。新戦線にとって、この目標への道は、中立政策、東方への国家政策、大規模なヨーロッパ秩序としての第四帝国の確立のための努力である（ヨーロッパも参照）。積極的な国家平和政策は、戦争責任の嘘に最もよく、最も印象的に反駁する。

卍の下で楽しむ

国家社会主義者の活動には、明るい場面もあるのでゲルハルト・ラウクの小冊子「**Fun Under the Swastika**」からの抜粋を紹介します。

37.

真実はフィクションよりも面白いことがある。人類の起源に関する最も優れた研究である「*人種の起源*」は、カールトン・S・クーンという人類学者によって書かれたものである。さらに面白いことに、彼はその先駆的な研究の中で、現代のアフリカの黒人は、絶滅した原始的なコーカソイド部族とピグミーとの間の結合の子孫であることを証明したのである。

38.

ベルリンの壁が崩壊して間もなく、私たちは（以前は共産主義に支配されていた）中央ドイツをドライブすることにしました。ところが、小さな田舎道で車が泥沼にはまり込んでしまった。

兵士を満載したロシア軍のトラックがやってきた。私たちは手を振って助けを求めた。しかし、そのロシア軍将校は、明らかに我々の苦境を楽しんでいるようだった。ドイツ人は助けない！」とでも思っているような顔で、ニヤニヤしていた。

ところが、運転手が「助けてくれ」と10西ドイツ・マルク（約6ドル）の大金を差し出すと、彼は態度を一変させた。ロシア語で部下に命令するのだが、その部下はみんなきれいな制服を着ている。トラックから泥の中に飛び込み、泥まみれになりながら、私たちを押し出してくれた。

赤軍の将校がよほど愚かで、強力な軍用トラックで私たちの小さな車を押すように運転手に命令したのか、それとも自分の部下に無頓着だったのか、どちらかだ。

とにかく、赤軍が忠実な国家社会主義者でいっぱいドイツの民間車を助けに来たことを面白がっていました...明らかに彼が知らないことです



NS KAMPFRUF
KAMPFSPRÜFUNG DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934 Ausgabe 1273 28. April 2017 02.06

Der Kampf geht weiter !

Beide Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenstab, Vorhut, Verfügung, Verfügung und Verfügung haben nicht nur erreicht, das Kreuz der goldenen Aue unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu entdecken.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Völkler- und Rassenmenschen als früher. Sie sind im Kampf um die Erlangung unserer Freiheit.

Die Bewegung ist zwar stärker geworden, aber die Gefahr des kollektiven Völkermord ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmliche Aufgabe ist es, Adolf, den Völkermord - gegen alle wissen Völkler (V) - zu begeben. Keine Mittel und Eisenbahnen, Überführung und Rassenreinigung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenstab, ob im Propagandastab, bewacht oder auf einem Schulhof, andere Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hilf Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増量期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the NEW ORDER
Number 176 (132) Founded 1978 April 26, 2021 (132)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hilf Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!